



夢いっぱいの生っ子 No.9

平戸市立生月小学校
校長 大石 信弥

明日で5月も終わりです。29日は、九州北部地方の梅雨入り発表があり、大雨が心配になる季節になりました。台風2号の今後の進路も心配されるところです。また、気温もだんだん上がり、熱中症も気になります。学校の方でも養護教諭が保健室前に「熱中症情報」のコーナーを設置しました。

さて、6月は、5年宿泊学習や水泳指導、教育週間をはじめ、たくさんの学校行事が行われます。行事を通してまた、一回り成長することを願っています。

思い出した「アメリカインディアンの教え」

校長室で仕事をしていると、職員室から「失礼します。〇年〇組の□□です。お手紙を取りに来ました。入ってもいいですか。」と子供たちの声がします。職員室は、学校の中で唯一「大人しかいない部屋」です。子供たちにとっては、小さな社会の入口であり、少なからず緊張しながら入室します。すると「上手に言えたね。」「元気よく言えたね。」などと職員室から返事が返ってきます。「ありがとうございます」と嬉しそうな声が聞こえてきます。なんとも微笑ましく、いい気持ちになるひと時です。

よく「子供は親（大人）の鏡」と言われます。こんな素敵なやり取りを聞いて、ふと「アメリカインディアンの教え（ドロシー・ロー・ノルト）」を思い出したのでご紹介します。

子どもたちはこうして生き方を学びます。

批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします。

故意に満ちた中で育った子は、誰とでも戦います。

ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。

ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります。

心が寛大な人の中で育った子は、我慢強くなります。

励ましを受けて育った子は、自信を持てます。

褒められる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。

公明正大な中で育った子は、正義心を持てます。

思いやりの中で育った子は、信頼心を持てます。

人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大切にします。

仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます。

時代や国は違っても、いつも「いい詩だな」と納得させられてしまいます。これからも、子供たちとかわっていく中で、大人として、もっと成長していきたいと感じたひと時でもありました。

